

長い休業期間が終わり、学校生活が再開しました。1年生にとってはようやく本格的に始まった高校生活、2、3年生にとっては久しぶりの授業ということで、この1か月はとても中身の濃いものになったのではないのでしょうか。まだ不安な面もいろいろありますが、一人一人が感染予防や体調管理を心掛けながら学校生活を送っていきましょう。

小松での高校生活でたくさんの経験を積み、成長していきましょう。図書室も皆さんが読書を楽しめるように、学びの場として図書室を活用できるように、環境を整えていますので、どんどん足を運んでください。図書室内では本にPOPを付けたり、展示を充実させたり、様々な形で本を紹介しています。色とりどりあじさいが見られる季節になりました。まだ6月なのにもう暑い日が続いています。皆さん体調管理を十分していますか。雨の日には、図書館の展示に足を運んで、「雨もいいものだな」と思える名作と出会い、ゆったりと優雅なひとときを過ごしていきましょう。これから新刊も順次入ってきます。ぜひ、この機会に図書室に来て、本を借りてください。



前期図書委員を紹介します

	1年	2年	3年
1組	山崎さん・越智さん	佐々木さん・浅田さん	伊東さん・楠さん
2組	石川さん・久米さん	榊原さん・玉井さん	伊藤さん・大西さん
3組	松田さん・小野さん	伊藤さん・森川さん	稲見さん・佐伯さん
4組	黒川さん・塩崎さん	松木さん・真鍋さん	越智さん・千葉さん

○図書委員長(3年3組 佐伯 さん)よりメッセージ

図書室には、英検・漢検などの検定本がたくさんあるので、勉強に活用することができます。もし、お目当ての本がない場合は、リクエスト本として図書委員に言ってください。また、気軽に利用してくださいね。

○図書副委員長(3年2組 大西 さん)よりメッセージ

将来就きたい職業についての本「なるにはシリーズ」がたくさんあるので、ぜひとも図書館にいらしてください。何か新しい発見があるかもしれません。

(先生方からおススメ本を紹介します)

英語科 門家先生 『英語学習のメカニズム』

出版社：大修館書店

著者：廣守 友人



皆さん、質問です。「聞く」「読む」のインプットと「話す」「書く」のアウトプットのどちらが必要だと思いますか？正解はこの本の中にあります。日本人にとって最適な勉強法が、初級者から上級者に分けて分かりやすく具体的に書かれています。少し言うと、気付き、すなわち意識することで英語の上達が変わってきます。なぜなら、私達の身の回りには、英語があふれているからです。

一念発起して英語を習得したい皆さん、言語習得のしくみを知れば、英語はもっと効率的に勉強できる！自分の個性・適性に合った英語学習法がこの1冊で分かります。

☆☆☆☆☆ **新 刊 紹 介** ☆☆☆☆☆

2020年度 全国青少年読書感想文コンクール課題図書

(以下3冊購入) 予定です。

是非とも本を読んで、全国読書感想文コンクール（愛媛県審査）に応募しませんか。

○「廉太郎ノオト」

谷津矢車 著 中央公論新社

(ここがポイント) 夢は、明治日本の空に西洋音楽を響かせること——。音能を開花させながら、短い命を燃やした天才・瀧廉太郎の甘く苦い青春物語

○「フラミンゴボーイ」

マイケル・モーパーゴ 著 小学館

○「キャパとゲルダ：ふたりの戦場カメラマン」

マーク・アロンソン, マリナ・ブドーズ 著 あすなろ書房



(以下の本も購入しています。どんどん本を借りに図書室に来てください。)

「池さんものがたり」、 「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」、
「学びを結果に変えるアウトプット大全」、「クスノキの番人」、「砂糖の歴史」